

令和5年6月13日  
農林水産部

報道機関各位

### 令和5年度山形県田んぼダム推進情報連絡会（第1回）の開催

このことについて、下記のとおり会議を開催いたしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

本連絡会については、近年の気候変動により豪雨災害が激甚化・頻発化している状況を踏まえ、国と県では河川流域のすべての関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進し、県内各地で水害を軽減させる対策が進められています。

県ではその一環として、水田の雨水貯留機能を活用し洪水の流出時間を遅らせる「田んぼダム」を推進するため、昨年度設立し、置賜管内において実証ほ場における貯留機能効果の実証調査や取組事例集の作成などを進めてきました。今回の会議では、置賜地域の下流に位置する村山管内で情報共有や課題等の検討を行うものです。

#### 記

- 日時 令和5年6月20日（火） 13時30分～15時30分
- 場所 山形県庁2階 講堂（山形市松波）
- 内容（1）講演「山形県内外の田んぼダムの効果評価事例」  
新潟大学農学部 助教 <sup>みやづ</sup> <sup>すすむ</sup> 宮津 進 氏  
（2）令和4年度 of 取組報告と令和5年度 of 実施予定  
（3）意見交換
- 4 参集者
  - ・活動団体：NPO 法人みさと田園空間クリエイターズ（天童市）、塩野地域資源保全会（新庄市）、野川地域農地・水・環境保全組織（長井市）、農地・水・環境保全組織いなばエコフィールド協議会（鶴岡市）
  - ・行政機関等：村山・置賜管内の市町、東北農政局、山形県、山形県土地改良事業団体連合会
  - ・オブザーバー：新潟大学農学部 宮津氏
- 5 その他 会場内に記者席を用意しますので御利用ください。

（田んぼダムとは）

水田に雨水が貯留される機能を活用し、水田の排水口に流出量を抑制する調整板などを設置することで、水田から時間をかけて雨水を排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えて、下流域の湛水被害リスクを低減する取組み。



【問合せ先】農村整備課 担当：農村防災・災害対策主幹  
門脇 健 電話 023-630-2157

報道監 農林水産部次長 齋藤 邦仁